



地域医療連携と多職種連携

国家公務員共済組合連合会 名城病院診療部長

岩間 芳生

もう30～40年ほど前のことで私事で恐縮ですが、私の祖父母は二人とも自宅で(三世同居でした)近所の診療所の先生に看取られ天寿を全うしました。当時特に違和感は覚えませんでした。そういう時代だったように思います。時代は移り、核家族化がすすみ、65歳以上の人口が4人に1人、3,000万人を超える少子高齢化社会を迎えました。

さて、当院では、本年5月から地域包括ケア病棟を開設しました。急性期の治療は一段落したけれども自宅へ退院するまでに今しばらく医療やリハビリを必要とする方のための病棟です。介護が必要な状態となっても住み慣れた地

域で療養を続けていけるように、地域ぐるみで医療・介護などの支援をおこなう地域包括ケアシステムを支えるものです。

また、10月には地域医療支援病院の承認を受けました。身近な地域で完結した医療を提供できるようにするためには、診療所や病院などの医療機関が相互に協力しそれぞれの役割を果たすことが必要です。地域医療支援病院は、「かかりつけ医」を支援し、専門外来や入院、救急医療など地域医療の中核を担うことができる体制を備えた病院です。当院が地域医療の中で今まで以上に重要な役割を果たすことが求められます。

当院は、もとより高度な急性期

医療をおこなう集中治療室を設置し、救急患者を受入れる急性期病院であり、かねてから救急と病診連携には力を入れてまいりました。地域包括ケア病棟の開設により高度急性期から回復期まで切れ目のない医療を提供できる体制となりました。入院から退院、その後の地域での療養にいたるまで、医師、看護師だけでなく院内の様々な職種がひとつのチームとなって協同することがますます重要になり、地域の医療、介護、行政の皆様との連携が必須となります。

急性期・救急医療、地域包括ケア病棟というたて糸と地域医療支援病院・多職種連携というよこ糸をうまく織り合わせて、この地域の医療によりいっそう貢献していきたいと考えています。

何卒よろしくお願いいたします。



ホームページ リニューアル!



名城病院のホームページが10月1日新しくなりました。

トップページは、すっきりさせ次ページを選びやすくし、各科の医療も案内や特色をわかりやすくしました。

スマートフォンでも見やすくなりましたので、ぜひご覧いただきお役立て下さい。



胸
部
心
臓
血
管
外
科

心臓血管外科部長

村上
文彦

胸部心臓血管外科紹介

心臓の手術を行い、引き続き術後の管理を維持していくためにはさまざまな関係部署の協力が必須です。手術に関しても病棟、手術部、麻酔科、集中治療部などの関与があります。

一方、手術に至るまでも同様です。当科の手術症例対象は標榜にあるように胸部（肺・胸腔疾患）、心臓、血管（大動脈瘤、末梢血管障害）が含まれています。

患者さんは、肺であれば呼吸器内科に受診され、そこで診断の後、手術適応として当科に紹介されています。

同じように心臓の病気であれば循環器科で診断の後、受診されることになります。

というわけで自分の科で外来

から検査、診断、手術というながれになるのは血管疾患だけということになります。

ただしこれも、ご自分で症状を訴えていらっしゃる方は少なく、お近くの診療所で診断をされて来る方が大部分を占めます。

このように単独では直接あまりお役に立てない科です。実際の外来はどんな患者さんが見えになるのかといいますと、ほとんどが再来の方です。

内容を御紹介しますと手術後早期で管理が必要な方、当院の他科にかかっており当科の外来も同時に受診される方、人工弁置換術後などで薬剤コントロールが必要な方、術後定期検診として4～12か月に一回受診精

査をなさる方がほとんどです。

手術後に全員が当院で通院していると外来がパンクしてしまうので、特に事情のない方については御紹介して下さった診療所、お近くの診療所に通院することを勧めしています。

その際にも創部の異常を認めた場合や、普段と変わった症状のあった時には遠慮無く当院を直接受診することも歓迎しております。

医師二人で外来、病棟、手術を行っておりますので、すべてご希望をかなえることは困難な部分もありますが、これからも地域の胸部・心臓・血管の手術を担っていくつもりでありますので、よろしくお願い致します。

12
階
病
棟

12階病棟師長

藤本
小夜子

12階病棟紹介

12階病棟は病床数36床で特別室10床を含む病棟です。当院の最上階の病棟であり、病室からの眺めは素晴らしく、晴れた日には遠くに御嶽山、伊吹山を見ることができます。

主に入院される患者さんは、小児・小児循環器科、小児整形外科（16歳以下）です。しかし特別室があるため内科・外科を問わず幅広い分野の患者さんが入

院され、治療内容も様々ですが、日々安全で質の高い看護が出来るように勉強会やカンファレンスを行いケアの質の向上に努めています。

小児整形外科の入院は多く、愛知県はもちろんのこと北海道から沖縄といった遠方からも多くの小児が側弯症治療目的で入院されます。

側弯症治療は半年に一回繰り返し入院されて*VEPTR（ベプター）やGrowing Rodの延長術となるため患児との信頼関係



を築くために、同一看護師が受け持つようにしています。入院時少しでも患児自身が側弯症手術のイメージができ、納得して治療が受けられるようにDVDを作成し、術前処置の流れを患児および両親

に正しい情報が伝えられるよう心がけています。また、長期入院の患児には週3回の院内学級が受けられます。

病棟内は、季節感が味わえるような飾りつけの工夫を行ったり、七夕・クリスマス会などのレクレーションを企画したりして、入院している子供たちと家族が少しでも楽しく、安心して入院生活が送れるように医療スタッフが連携を図り、日々の看護に取り組んでいます。病棟中に子供たちの楽しそうな声が響き、スタッフ一同子供たちの笑顔にたくさんのパワーをもらっています。私たちは、患者家族の気持ちに寄り添い、思いやりのある優しい看護を目指します。

*側弯症治療のための非固定矯正手術。患者の成長に合わせて機器の延長が可能であることが最大の特徴である。

皮膚科

皮膚科医師

馬場義博

皮膚科紹介

皮膚科は、皮膚に生じる様々な皮疹を分析して、その診断・治療を行う診療科です。

湿疹・かぶれ、アトピー、じんましん、水虫、とびひ、にきび、いぼ、ほくろ、床ずれなど身近なものから、痒疹(ようしん)、紅皮症(こうひしょう)、乾癬(かんせん)、掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)、膠原病(こうげ



(写真はイメージです)

んびょう)、天疱瘡(てんぼうそう)・類天疱瘡(るいてんぼうそう)といったあまり聞き慣れない病名の皮膚疾患もたくさんあります。

また、皮膚にできる腫瘍(できものや、しこり)には良性のものもあれば、悪性いわゆる皮膚癌もあり、その正確な診断は大切です。

皮膚疾患には、症状があるものもあれば、全く症状がないものもあります。症状がないからと言って放置しておく危険な場合もあるため注意が必要です。また、原因がはっきりしているものもあれば、原因不明な



ものもあり、意外と原因不明なものが多いのも事実です。

治療には塗り薬、飲み薬、点滴の他に、液体窒素凍結治療や手術などがあります。一つの病気でもその状態や程度などによっていろいろな治療法が考えられ、患者さんと相談しながらできるだけ副作用が少なく有効な治療を選択する必要があります。

皮膚に関するトラブルがあれば気軽に受診していただきたいと思っています。

歯科口腔外科

歯科衛生士

西島沙織



「なりきり☆こども先生」を開催しました。



平成27年8月5日(水)に歯科口腔外科では夏休み特別企画として、小学生インターンシップ(職場体験)を開催しました。

これからの職業選択の一助となるよう、歯科口腔外科のスタッフが口腔外科医の業務内容をはじめ、病院医療紹介を行った後、白衣を着用して実習を行いました。

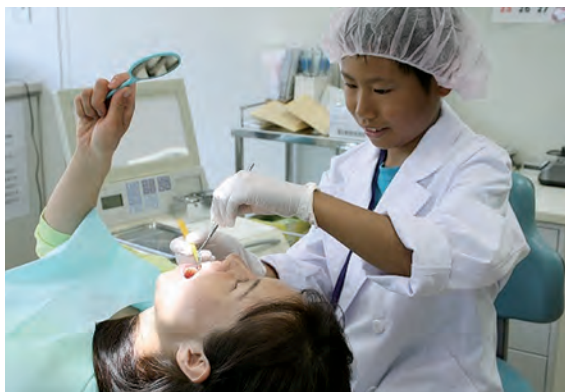
内容として、口腔内視鏡による口腔内の観察、模型を使って

型どり及び模型作製、手術時のモニター装着、診察台にて保護者の方へ歯磨き指導、一次救命処置・AEDの取り扱い、模型で抜歯、鶏肉で切開・縫合をしてもらい、院内ツアーも実施しました。実習中は真剣に説明を聞き、前向きに笑顔いっぱいに取り組む姿が多くみられました。

参加した児童からは、縫合や模型作り、モニター・AEDが特に楽しかったなどの感想を頂い

ています。さらに、手術室が見たい、自分の歯型をとりたい、他の医療機械も見たい、など皆さんの医療に対する興味の深さを伺うことが出来る多くの声を頂きました。

当日は事前予約の方以外に、多数の見学希望者で満席となりました。頂いたご意見を元に次回はより充実した企画にしたいと思っております。楽しみにしててください。



患者さん



患者さんからうれしいお言葉をいただきました。

意見 水谷太郎先生、大変お世話になりまして真にありがとうございました。先生のお人柄に大いにいやされました。又、ナースの皆様の明るくやさしく慈愛に満ちた終始一貫した言動、見事なチームワーク愛和の結束を半月間拝見し、接し、気持ち良く入院生活を過ごさせて頂きました。食事関係の方々、掃除の方も気持ち良い姿を拝見し、なんと素晴らしい病院である事を実感いたしました。ありがとうございました。

真夜中も
ナースコールの
鳴り止まぬ
やさしい対応
ありがたいかな



私たちと一緒に働きませんか？

常勤看護師

募集!!

看護師・助産師免許取得または取得予定の方、ぜひ一度病院見学・インターンシップにご参加ください。詳しくはホームページ 又は 052-201-5311

人事担当 岡島まで



編集
後記

10月になり、もう秋ですね。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…。皆さんにとって、どんな季節でしょうか。食欲の秋というフレーズに負けてしまうこともあります。秋は気候的に体を動かしやすい季節です。健康のために、普段、体を動かすことが少ない方も、この秋から、何かスポーツを始めてみてはどうですか。いい汗をかくとまではいなくても、ちょっとした散歩をすることから始めるのもいいかもしれませんね。名古屋城の周りを歩かれるだけでも良い運動になりますよ。

T.S



<http://www.meijohosp.jp/>

名城病院診療等のごあんない



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。



診療科目

内科（消化器内科／呼吸器内科／腎・糖尿病内科）、循環器センター（循環器科／胸部心臓血管外科）、小児科／小児循環器科、外科、整形外科（脊椎脊髄センター）、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、歯科口腔外科、神経内科



診療受付時間

新患 午前 8:30～11:30
再来 午前 8:00～11:30



休診日

土・日・祝日・年末年始（12/29～1/3）



面会時間

一般 午後 0:30～8:00
新生児 午後 0:30～8:00
（授乳時間をのぞく）
ICU 午後 0:30～4:30
（家族のみ） 午後 5:00～8:00



- ・ 時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越しください。
- ・ 人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

052-201-5311 FAX 052-201-5318